【報道発表資料】

KDDI R&D LABS

株式会社 KDDI 研究所
2009 年 11 月 13 日

Android™をベースとした STB の試作に成功
～Embedded Technology 2009 に出展予定～

株式会社 KDDI 研究所(埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長:秋葉重幸／以下、KDDI 研究所)は、世界初*1 の Android™*2 をベースとした STB (Set Top Box) を試作しました。

2008 年秋以来、Google™*2 の携帯電話プラットフォーム「Android™」を採用した携帯電話は世界各国で発売されており、その市場は広がりつつあります。その一方で、Linux カーネル上に JAVA VM を搭載するという汎用的なアーキテクチャを持つ Android™を組み込み機器の OS として利用し、STB、カーナビ、デジタル家電などに活用する試みも急速に進んでいます。

特に、携帯プラットフォームと同じプラットフォームを STB に採用することで、携帯電話と STB 上で同じコンテンツやアプリケーションを利用することが可能となります。これにより、開発コストの低減やリードタイムの短縮のみならず、FMC(Fixed Mobile Convergence)連携を実現するアプリケーションプラットフォームとしても期待が高まっています。また、Android™の持つアプリケーションのアドオン機能により、利用者のライフスタイルや好みに合わせたサービス提供も可能となります。

これらの背景を元に、将来の STB のあるべき姿やアプリケーション連携を検証するためのプラットフォームとして Android™をベースとした STB を試作し、基本機能として、(1)IPTV フォーラム技術仕様準拠の VOD 受信機能、(2)IP マルチキャスト放送受信機能、(3)アプリケーション連携を実現しました。

また、今後携帯に搭載が予想される高速赤外線通信、WiFi、TransferJet™*3 などの高速ファイル転送機能が、STB との連携に利用されることが期待されます。今回は STB に TransferJet™を組み込み、携帯電話と STB の間で大容量ファイルを高速転送する技術を開発し、検証しました。これにより、STB と携帯電話間の、コンテンツのシームレスな連携を実現することが可能となりました。

今回試作した Android™を組み込んだ STB は、2009 年 11 月 18-20 日にパシフィコ横浜(横浜市西区)で開催される Embedded technology 2009/組込み総合技術展の OESF*4 (Open Embedded Software Foundation)のブース内にて出展いたします。本開発成果は、OESF の STB-WG に反映し、STB フレームワークの整備・標準化に寄与する予定です。

以上

*1 IPTV フォーラム技術仕様準拠の STB として。

*2 「Google」および「Google ロゴ」、「Android」および「Android ロゴ」は米国 Google, Inc. の商標または登録商標です。

*3 「TransferJet」はソニー株式会社の商標または登録商標です。

*4 「OESF」は Android をベースとした組込みシステムの開発・普及促進を目的とする社団法人です。(http://www.oesf.jp/)

(資料)

図 1　試作した Android™を搭載した STB の利用イメージ

図 2　Android™を組み込んだ STB の外観